

向に配慮しながら一層の交流に努めたい。

地球温暖化防止に向け

区施設にLED照明の導入を

区はCO<sub>2</sub>排出量削減につ

ながる照明の普及のため、率先して本庁舎や区施設、街路灯などにLED(発光ダイオード)照明の導入をすすめるべきではないか。

区長 LED照明について

旧中野刑務所の正門は

区として保存せよ



公明党議員団 江口 清三郎

旧中野刑務所は、戦前・戦中・戦後の変遷を経て、多年にわたる区民運動の成果として移転され、跡地に下水処理施設と平和の森公園を整備してきた。①法務省矯正研究所東京支所の移転計画にあわせて、区は、野方小学校と沼袋小学校の統合新校用地として取得する方針を示したが、進捗よく状況はどうか。②矯正研究所内に保存されている旧中野刑務所の正門は、区として保存すべきでは。

①山手通りの拡幅整備は計



旧中野刑務所の正門

画より遅れていないか、完了予定はいつか。②中野坂上交差点付近の風害対策は植栽で対応すると言いが、植栽はごく一部しかない。都や関係団体は責任を持って行うつもりがあるのか。区は、再度、関

係機関に要請し、実施計画を区民に示して協議すべきでは。区長 ①区内の山手通り拡幅整備は、平成22年度に完了予定と聞いている。②都と首都高速道路株式会社は、山手通り拡幅整備事業の植栽で工夫するとしている。植栽計画は、議会などにも報告する

歩道橋を撤去し横断歩道を

中野坂上西側の青梅街道にかかる歩道橋を撤去し、横断歩道設置を求めよう。地元から区・都・警視庁に出されている。地域住民の意向を踏まえて対応すべきでは。

区長 歩道橋の撤去について

区長 歩道橋の撤去については、都や中野警察署に打診しているが、都からは、当該歩道橋は利用者も多く、直ちに撤去するのは難しいとの回答を得ている。今後、地元の要望も把握しながら、引き続き関係機関と協議していく。

「中野駅周辺まちづくり」駅南口の活性化を図れ

自由民主党議員団 内川 和久



「中野駅地区と中野駅南口の整備構想案の検討」では、新たに西口改札と南北通路の整備、駅周辺からのアクセスの向上が描かれている。①中野三丁目地区では駅前ゾーンを整備して駅前空間をつくり、駅へ直接アクセスできる構想がある。また、利用にあたって、地元住民が気軽に利用できる範囲や利用料の設定が必要ではないか。②社会復帰センターの整備には、地域から不安の声があがっている。十分に理解されるよう区は説明責任を果たすべきではないか。また、障害者の方々が安全に通える経路を考えてはどうか。③ピオトープを存続させる計画だが、昆虫や小動物が住居に侵入するなど近隣に被害が出ている。今後、管理はどのようにするのか。

区長 ①あり方や組織について現在検討中であり、今後、利用者や地域住民が協議にかかわれるようにしたい。また、地域の町会や防災会の利用には一定の配慮を行う。②地域説明会などで利用者の状況や日々の活動について説明し、理解を深めていただきたい。今後機会をとらえて取り組んでいく。通所経路は利用者者と相談し通いやすい安全なコースを決めたい。③安全管理に十分配慮し、近隣に迷惑をかけないよう地域の意見を踏まえ検討していく。

医療的ケアを必要とする人への支援の充実を

無所属 佐藤 ひろこ



経管栄養や呼吸器管理などの、医療的ケアを必要とする障がい児・者が増えている中、地域で共に生きていけるよう、福祉施設や医療機関などが連携した、地域のケア体制を充実していくことが必要と思うが、区の考えは。

区長 十分な社会的仕組みができていない大変重要な問題だと認識している。必要なサービスの整備を進め、包括的な地域ケアのネットワークづくりを展望して進めていきたい。

現在、医療的ケアを必要とする人が利用することのできる一時保護やショートステイが区内には無いが、今後の実現の方法を区はどのように考えているか。

区長 療育センターアポイントで児童デイサービスおよび緊急一時保護について準備を進め、学齢期以上の人については、江古田の森保健福祉施設と対応を協議し、実現を図りたい。

長期継続契約の拡充を図れ

自由民主党議員団 長 良輔



区の施設の管理や清掃業務を担う区内事業者の団体から、「毎年入札による契約のため、契約できないことを想定すると従業員の雇用は不安定となり、特に障害者を採用したくても積極的に行えない。」との話を聞いた。経営の安定が確保できない状況が、障害者の雇用にも悪影響を及ぼしている。①清掃業務や学校給食業務などで長期継続契約を行

に方針を示し、議会での議論を踏まえ第四回定例会で規則改正を報告し、来年1月から施行できるようにしたい。

新型インフルエンザへの医療対応を問う

①新型インフルエンザが発

生した場合、区は保健所などを発熱センターとし患者の対応にあたることにしている。被害の拡大を最小限に抑える必要があり、罹患者に直接接する医療従事者に対する予防や二次感染を防ぐため、マスクの備蓄など、どのような準備をしているのか。②鳥取



新型インフルエンザ模擬訓練

市では20万市民に20万枚のマスクを備蓄していると聞く。区もマスクの備蓄を段階的に増やしていくべきではないか。

区長 ①発生初期には、流行防止を主眼に、医療従事

安全で安心な質の高い

学校給食の維持に努めよ

無所属 むじつ 有子



経費削減目的で学校給食調理業務の民間委託が始まり、現在38校で17社が受託している。7月、野菜洗浄は5回すべきたが2回のみ、箸はこすり洗いができず、かごに入れそのまま洗浄など仕様の「安全・衛生及び調理業務等作業基準」が守られていないことが発覚した。これは委託契約違反だ。全校の業務遂行確認拒否はあってはならない。再発防止策を講じるべきでは。

8月、生活保護受給者が急

生活保護受給者の休日緊急医療受診を確保せよ

調査は毎年行っている。

生活保護受給者の休日緊急医療受診を確保せよ

区長 非指定医が生保受給者の診療を行った際の診療報酬請求事務の案内を行った。